

令和6年度 事業報告書
左京西部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）

【人材育成の取組】

・非常勤職員にも、積極的に事業の立案、実施に関わってもらうことで、センターを活用したまちづくりに貢献できる人材育成をしている。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
318	314	339	311	339	392	349	303	287	272	354	341

(年間)

3919 件（前年度比 97.4%）

イ 利用状況

○ 利用料金制度への移行以来減少傾向にあり、昨年度と比べ件数で 103 件、時間ベースで 314 時間減となったが、令和 4 年度から令和 5 年度での減少率（83.7%）と比較すると、その幅は縮小しており、減少傾向に一定の歯止めがかかっていると言える。

利用団体の内訳は文化芸術系団体の利用が約 60%、次いでスポーツ系団体、健康系団体の利用がそれぞれ約 10%となっている。営利目的でない事業者の利用は 5 件 9 時間だった。

○ 会議室 1 のエアコンが故障しており、夏までに修理もしくは入れ替えが必要。

ウ 利用促進に向けた取組

○ 利用者の利便性向上のため、当日利用の電話予約を開始したところ年間 220 件 485 時間の利用があった。

エ その他

○ サロンの自由利用者数は、のべ 552 名で、前年度比 162%（前年度利用者数のべ 340 名）となった。また、廃材アート、フリーガーデンなど、サロンで事業を行うことで、センターの認知度向上と地域活性化を目指している。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

○ センターのホームページのほか、Twitter、Facebook での情報発信を行っている。

○ 利用者紹介コーナーの設置、サロンでの地域に係る展示や、かもがわデルタフェスティバルを使った、利用者の成果発表など利用者や地域の魅力を発信する機会を作っている。

イ 取組の効果

○ 特に提案事業へのボランティア参加者が増え、新たな事業のアイデアも提案された。提案された事業は令和 7 年度より実施予定。

(4) 管理運営

- 備品の長机やパイプ椅子等が老朽化し、使用できないものが増えてきたが、単純に買い替えるのではなく、職員自身が修理し、その様子を SNS で発信している。
廃材を利用した棚やテーブルを共有スペース（ロビー）に設置し、美しく居心地のいい空間づくりを心がけている。

(5) その他

- 利用者への積極的な声掛けや、地域の取り組みへの積極的な参加を行っている。
特に養正市営住宅は再開発に着手しており、今後どんな地域にしていきたいかという課題を地域住民とともに話す場として、サロンを使ってもらうなど、地域の発展に貢献できるよう努めている。

また、地域内の小中学校とも連携し、事業を行っている。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】多文化共生促進事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年9月15日（日）15時～19時
- 2 開催場所： 養正児童公園
- 3 参加人数：来場者約1,000名
- 4 協力団体等：かもがわデルタフェスティバル実行委員会／カポエイラ・アンゴラ インジンガ京都／PPI KYOTO SHIGA／養正小学校／高野中学校／田中村六斎念仏保存会
- 5 予算： 1,160,000円 / 決算： 1,155,000円

1 事業内容

- 当センターも実行委員として参加している「かもがわデルタフェスティバル」の関連企画として、「かもがわデルタフェスティバル」のステージを利用し、「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」「PPI KYOTO SHIGA」の協力を得て、カポエラやインドネシアスマトラ島の伝統舞踊の紹介を行い、同じ舞台上「養正小学校金管バンド」の演奏や「田中村六斎念仏保存会」の六斎念仏踊りの発表を組み合わせることで、地域の方と海外にルーツを持つ方との交流の場をつくった。
- イベントだけに留まらないよう、フェスティバル中、当センター内に外国籍の方向けの相談窓口を設置した。

2 準備段階での工夫

- 当センター利用団体である「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」「PPI KYOTO SHIGA」「田中村六斎念仏保存会」「養正小学校」「高野中学校」のご協力をいただき、実施した。
- 地域の複数の団体で構成された「かもがわデルタフェスティバル実行委員会」（当センターも参加している）の協力のもと、広報活動、準備活動を実施し、スムーズな運営ができた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果，目標等

- 1,000名程度の参加者を目標とし、1,000名の参加があった。
地域の方々と特に外国籍の左京西部いきいき市民活動センター利用者との交流の場を作り、文化紹介を行い相互理解を深めるという効果が見込まれた。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は100%。
- 「養正小学校のアリランがよかった」「いろいろな国の文化に触れられたことや、外国の人たちと一緒に踊れたのが面白かった」などの意見がきかれた。

4 今後の抱負

- パフォーマンスだけでなく、海外にルーツを持つ方々を交えたトーク、シンポジウムのようなものも開催し、さらに多くの方が参加できる場を作りたい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ハイザイ・アートワークショップ（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月20日より毎月第3土曜日10時～13時、計12回。
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約50名、計のべ約600名
- 4 協力団体等：スタジオぐるり
- 5 予算：680,000円 / 決算：680,098円

1 事業内容

- 水野哲雄京都芸術大学名誉教授が主催するスタジオぐるりと協力して、高齢者や親子が参加できる廃材を使ったアート作品創作ワークショップを毎月第3土曜日に行った。また、9月と3月に作品の展示会を実施した。

2 準備段階での工夫

- 使用する材料の調達、ワークショップの進行、展示など「スタジオぐるり」の協力を得て実行した。
- SNSを使った広報と口コミによる周知。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 当初の参加者目標は30名×12回で360名。アート作品制作を通じて環境問題やSDGsの取り組みに対する理解を深める効果が見込まれた。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 参加者はのべ600人となった。
- ワークショップ、展示を通じて環境問題、SDGsに対する関心を喚起し、理解を深めることができた。

4 今後の抱負

- 遊びながら環境問題、ごみ問題についての理解を深められるこの企画は好評で、引き続き実施していこうと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ベビー&キッズ用品交換会（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月20日より毎月第3土曜日10時～13時、計12回。
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約50名、計のべ約600名
- 4 協力団体等：AT-Kyoto
- 5 予算：660,000円 / 決算：655,000円

1 事業内容

- 主に子育て世代を対象とした、リユース交換会を行っている任意団体 AT-Kyoto と協力し、子育てに必要なもの、すでに不要になったものの交換会を毎月1回、計12回行った。企画の周知や、開催日に参加できないひとのために、左京西部いきいき市民活動センター入口に交換会で残ったものを並べる棚を設置し、センター利用者や保育所に通う方も欲しいものがあれば持ち帰れるようにした。

2 準備段階での工夫

- 会場設営など AT-Kyoto の協力を得て実施した。
- SNS を使った広報。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 各回25組の親子50名×12回 のべ600人を目標とした。
子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDGsへの関心や意向上を目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 参加者のべ600名という目標は達成できた。
- 子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDGsへの関心や意識向上に寄与することができた。

4 今後の抱負

- 大変好評な事業であり、子育て支援、ふれあいサロンの活動という観点からも事業を継続していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】まちづくりサポーター育成事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月21日より毎月第3日曜日の10時～12時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約10名。
- 4 協力団体等：左京朝カフェ／ようせい子ども会／京都学生演劇祭／養正小学校／
京都市東部まち美化事務所
- 5 予算： 770,000円 / 決算： 784,671円

1 事業内容

- 今年度より、ようせい子ども会と協力し、地域の小中学生の居場所づくりをサポートする取り組みを開始したことで、これまでの「かもがわデルタフェスティバル」や「地域清掃」だけでなく、小中学生を対象としたワークショップ「ようせい・アートむら」や養正小学校での「ようせいおばけやしき」のサポートなど活動の幅が広がった。

2 準備段階での工夫

- 広報や事業実施について、左京朝カフェや京都市東部まち美化事務所のご協力をいただいた。また小中学生向けの取り組みに関して、ようせい子ども会や養正小学校のご協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果，目標等

- 5~10名のボランティア参加者を目標としていた。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 大学生含む大人のボランティア10名、小学生のボランティア20名程度。
- 「来年もまた参加したい」「おばけやしきをサロンでもやりたい」「想像したより子供たちが盛り上がってくれた」「単なる作業のお手伝いではなく、交流や、一緒に企画を運営している感覚があり楽しかった」などの声が聴かれた。

4 今後の抱負

- 地域の小中学校とのつながりから、ボランティアの活動自体大きく変化しており、ボランティアも一緒に楽しめる企画を実施していくことで、参加者を増やし、地域力向上に寄与していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】サロン活性化サークル育成事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月25日(木)より毎月第4木曜日の11時～15時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約15名程度
- 4 協力団体等：京都学生演劇祭実行委員会／かもがわデルタフェスティバル実行委員会／ようせいこども会
- 5 予算： 860,000円 / 決算： 863,111円

1 事業内容

- ふれあいサロン（旧高齢者ふれあいサロン）を使った地域の活性化のためのサークルメンバーを募集し、サロン利用者、地域の方々への聞き取りや、専門家の話を聞きながら、サロンの活用法を考え、実践した。

昨年から実施している「自由菜園」と「自由本棚」を継続し、「自由菜園」で収穫された野菜などは一部「ふれあい食事会」で使用し、タイミング的に難しいものは左京西部いきいき市民活動センター入り口のテーブルに並べ、利用者に持ち帰って貰えるようにした。生ごみを減らすため、コンポストを作成、設置している。

令和6年度には新たに「バケツ田んぼ」と「ふれあいビオトープ」を実施し、ふれあいサロンの魅力を高めるとりくみをしている。

2 準備段階での工夫

- 京都学生演劇祭実行委員会、かもがわデルタフェスティバル実行委員会、ようせいこども会の協力を得て事業を実施した。
- SNSを使った広報。他の提案事業との協働。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 各回5～10名の参加を目標とした。ふれあいサロンを訪れる人を増やし、地域の活性化を促すことを目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 各回15名の参加があり、目標は達成できた。
- 「初めて自分で野菜をとった」「とんぼがかわいい」などの声がきかれた。

4 今後の抱負

- 「立ち寄りやすいサロン」を目指し、更なる工夫をこらした事業を展開したい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域に係わる展示事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R7年4月16日（水）／R7年4月27日
- 2 開催場所：左京西部いきいき市民活動センターロビー／ふれあいサロン
- 3 参加人数：来場者 145名
- 4 協力団体等：大谷大学地域連携プロジェクト「聞き取りを通じた共生社会推進プロジェクト」／左京東部いきいき市民活動センター
- 5 予算：260,000円　／　決算：259,960円

1 事業内容

- 大谷大学、左京東部いきいき市民活動センターと協力し、「多文化共生」をテーマに、海外にルーツを持つ地域の方にインタビューした内容をパネルにして展示した。

2 準備段階での工夫

- 大谷大学地域連携プロジェクト「聞き取りを通じた共生社会推進プロジェクト」及び左京東部いきいき市民活動センターと協力し、インタビュー、編集、展示を行った。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 100名の来場者を目標とした。
海外にルーツを持つ方と、元々の地域の方々との相互理解の促進を目指した。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 4/21現在で来場者数70名。展示期間終了までに目標の100名は超える見通し。
- 「同じ地域にいろいろな海外の方が生活している実感がわいた」「お互いの理解を深める必要があると感じた」などの意見が聴かれた。

4 今後の抱負

- 今回は初めて海外の方への聞き取りだったため、インタビューに答えていただける方を探す過程と、インタビューの内容をお話いただいた本人に確認してもらうのに時間を要し、開催予定だった2月に開催できず、4月開催になってしまった。この点を踏まえて、今後は綿密な計画を立てて企画を実施する。
今回知り合ったの方々との提案事業「多文化共生促進事業」での連携を考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ふれあい食事会（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月25日(木)より毎月第4木曜日の12時～15時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：のべ180名
- 4 協力団体等：モンパン食堂 京都 Tera.Coya 京都市立養正浴場 ようせいの家
- 5 予算： 360,000円 / 決算： 356,435円

1 事業内容

- 誰もが参加できる「ふれあい食事会」を毎月第4木曜日、年計12回開催した。その際、「防災」につなげるため、子どもに火の扱いを教える焼きおにぎり会と段ボールピザの会を実施した。

2 準備段階での工夫

- モンパン食堂 京都 Tera.Coya 京都市立養正浴場 ようせいの人に広報、講師の協力をしていただきながら実施した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 参加者各回10名、計120名を目標とし、「ふれあい食事会」を介した多世代交流を促すことを目的とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 参加者はのべ約180名で目標の120名を上回った。
- 参加する高齢者の方々も配膳など協力し、多世代交流の場として機能した。

4 今後の抱負

- 事業名を『高齢者食堂』から『ふれあい食事会』としたことで、様々な世代の方が参加でき、多世代交流が活性化できた。「防災」をテーマとした食事会ができ、単なる交流の場ではなく、楽しく地域のことを考える場としても活用したい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和6年度実績：4,714,250円（前年度比96%）

〔内訳 会議室等：4,643,700円
付属設備：70,550円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：0円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和6年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
55.1%	44.1%	0.8%	0%	1.3%

(2) センター独自アンケート

○概ね満足

3 意見等への主な対応状況

- 机やパイプ椅子などの備品が老朽化しているとの意見があったため、修繕している。掃除しやすい掃除機の導入をした。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。
概ね好評な意見をいただいているので、発展的に継続していきたい。
夕方以降空いている部屋を「自習室」として小学生～高校生に開放する試みをしたところ特にテスト期間前など一定数の利用があった。
- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。
エアコンを修理してほしいという声があるので修理したい。
- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。
利用者の利便性向上と、地域の活性化を促し、利用率上昇につなげたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

地域に係わる展示事業の実施が4月にずれ込んでしまった。

【締め切り】

4月30日（水）までに地域自治推進室へデータ1部+紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書も4月30日（水）までに提出してください。